5年生　総合的な学習の時間

「水路探検プロジェクト」

(2024.10.10)

　10月10日に、佐賀県中部農林事務所と祐徳建設の協力のもと、水路探検プロジェクトを行いました。始めに、室内でクリークの役割（水を貯めたり、田んぼに水を送ったりする役割、災害から地域を守る役割、生態系を守る役割）や普段の生活への関わりを学習しました。その後、学校の近くのクリークに行き、工事の様子を見学しました。途中で、改修工事のクリークの中に下りて、記念の絵文字も描かせてもらいました。

　子どもたちは、教科書では得にくい、たくさんの気づきや発見に出会い、建築業や土木業の重要性を学びました。子ども達の振り返りを紹介します。

【振り返り】

・「いつも当たり前のように見ているクリークに、こんな役割があるなんて知らなかったです。」

・「クリークのおかげで、田植えの時に水に困らないことがわかりました。クリークに感謝したいです。」

・「建築や土木の仕事はとても大切ということがわかりました。」